

筑前町 学校教育推進R5



志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心をもつ、たくましい子どもの育成



1 地域とともにある学校づくりの推進

2 確かな学力を育み、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

3 心づくり・体づくりの推進

4 いじめ・不登校等に対する生徒指導体制の確立

5 特別支援教育の充実

6 人権教育の推進

7 教職員の資質向上と人材育成

8 教育環境の整備

2022年 | 筑前町

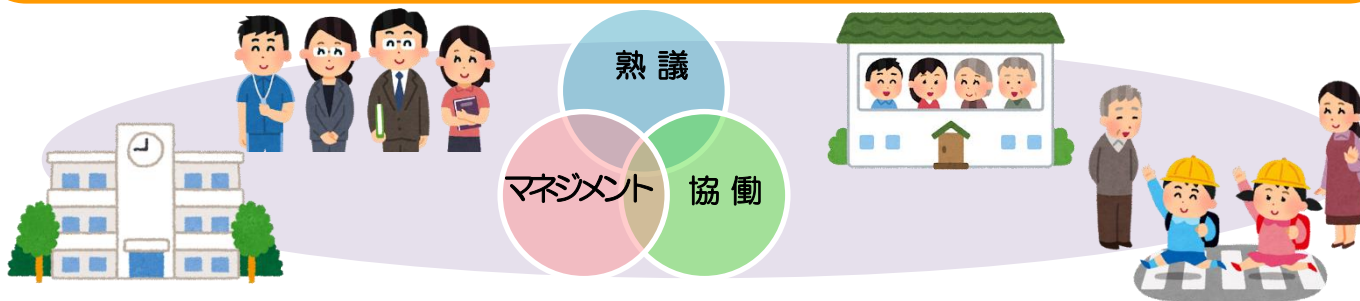
筑前町教育委員会

1 地域とともにある学校づくりの推進

指標⑤児童生徒質問紙「学校に行くのは楽しい」の項目において肯定的な回答をした児童生徒の割合
小：90% 中：85%を超える

「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の充実に努めます

- ★ 学校と地域の人々が、学校の課題を理解し、課題解決のために学校・家庭・地域が取り組む活動や取組状況を一年間通じて考え、話し合うこと（熟議）
- ★ 同じ目標に向かって、委員は役割分担し自分の属する組織の協力を得て、一緒になって活動していくこと（協働）
- ★ 校長を中心に、人をつなぎ、学校の組織としての力を上手く引き出すこと（学校のマネジメント）



学校の実態に応じた取組



食に関する指導で、地域の方と連携し、「食への感謝」「生命尊重」の学習を実施



学校経営の重点の教育活動について、よさや課題を明確にする熟議



学習サポーターによる放課後学習



地域の方の協力で餅つきを実施

町内6校で共通した取組

「児童生徒が主体となる取組」「保護者等と連携した特色ある取組」を推進します



両中学校の生徒会が中心となってスマートフォン等の適切な取扱いについての取組を作成しました。作成にあたっては、保護者の声（アンケート結果）が活かされています。

小中学校が連携した「家庭学習強化週間」を設定し、家庭学習の習慣化に取り組めます。



2 確かな学力を育み、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

指標④全国学力・学習状況調査の学力調査の各教科の標準化得点が、過去3年間の最高値を上回る

『筑前町学力向上推進プランR5』を推進します

筑 前 町 学 力 向 上 推 進 プ ラ ン R 5

子どもたちの未来を拓く確かな学力の育成

○知識及び技能

○思考力、判断力、表現力等

○学びに向かう力、人間性等

学校の学力向上の取組

授 業 づ くり

誰一人取り残さない授業づくりの推進

- ◎ICTを効果的に活用した授業づくり
- 児童生徒による「授業評価アンケート」・教員による「授業チェックリスト」を活用した授業づくり
- 書く活動
 - ・「学びの足跡を自覚する」振り返り
 - ・「考えを明確にする」ための根拠や理由
- 子どもの見取りを重視した授業づくり
 - ・効果的な机間指導
 - ・補助教材の準備等
- 算数・数学科の各学年の系統性を意識した授業づくり

教員の意識・指導力の向上

◎町教職員研修（交流研修）の充実

- ・同校種及び異校種で授業公開や整理会の実施

校内研修の充実

- ・授業チェックリストを活用した校内研修の実施

日常的なOJTの推進

- ・ミドルリーダーの活用
- ・管理職等による教室訪問及び訪問後の指導助言

家庭・関係機関との連携

家庭学習の習慣化

- ・家庭学習強化週間の協働
- ・家庭での声掛け、確認、賞賛
- ・基本的な生活習慣の定着

放課後学習の実施

- ・アフタースクールの充実

学 力 の 基 盤 づ くり

個に応じた指導の充実

- ・CD層への補充学習
- ・AIドリルの活用

規範意識の育成

- ・児童会・生徒会活動の充実

自尊感情の醸成

- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動での活躍の場の設定

各種調査結果の活用

- ・学力向上推進協議会及び実態分析部会の開催
- ・町全体の調査結果を分析
- ・関係施策の評価（成果と課題）
- ・改善の方向性を提示
- ・学校、地域への情報提供

教育委員会の支援

英語力向上事業の実施

- ・ALT5名配置
- ・English Workshopの実施
- ・英検受験の補助（中学生）
- ・英語スピーチコンテスト開催

研修会の充実による人材育成

- ・経験年数、教育課題に応じた町独自の教職員研修会の実施

放課後学習の実施

- ・放課後アフタースクールの実施

ICT活用支援

- ・ICT活用教育アドバイザーによる支援
- ・ICT支援員配置・AIドリルの導入

規範意識の醸成

「人が困っているとき、進んで助けていますか。」

- ・小R4全国差+2.1→R5全国差+3.0
- ・中R4全国差-6.2→R5全国差±0

令和4年度 各種学力調査等に基づく課題

自尊感情の醸成

「自分には、よいところがあると思いますか。」

- ・小R4全国差-5.4→R5全国差±0
- ・中R4全国差-4.5→R5全国差±0

家庭学習の定着

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。」

- ・小R4全国差-3.0→R5全国差±0
- ・中R4全国差-6.0→R5全国差±0

個に応じた指導の充実

四分位層（CD層）の子ども割合が多い。

- ・小国R4全国差+4.1→R5全国差±0
- ・中国R4全国差-0.2→R5全国差-0.5
- ・小算R4全国差+8.1→R5全国差±0
- ・中数R4全国差+9.7→R5全国差±0

PC・タブレット等のICT機器の活用

「学校で、学級の友達と意見交換する場面で、PC・タブレット等のICT機器をどの程度使っていますか。」

- ・小R4全国差-18.3→R5全国差±0
- ・中R4全国差-21.3→R5全国差±0

挑む力の醸成

「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦していますか。」

- ・小R4全国差-5.2→R5全国差±0
- ・中R4全国差-0.1→R5全国差±0

学習意欲の向上

「勉強は好きですか。（国、算・数）」

- ・小国R4全国差-4.0→R5全国差±0
- ・中国R4全国差-11.5→R5全国差±0
- ・小算R4全国差+3.3→R5全国差±4.0
- ・中数R4全国差-3.3→R5全国差±0

算数・数学科の学力向上

特にCD層の児童生徒の割合が大きい。

- ・小算R4全国差+8.1→R5全国差±0
- ・中数R4全国差+9.7→R5全国差±0

アフタースクール (放課後学習)の実施

中学生

高度な専門性、指導力及び豊富な経験を有する外部講師による放課後学習を、毎週2回、2教科(英語・数学)で実施します。



小学生

ボランティアが中心となり、週2回程度実施します。(学校により実施方法等が異なります)



ALT(5名)を活用した 英語・外国語活動の充実

5名のALTを各学校に配置し、小学校外国語活動(3・4年生)外国語科(5・6年生)及び中学校外国語科の学習の充実を目指します。



English Workshopの実施



APU(立命館アジア太平洋大学)の留学生と交流し、英語のコミュニケーション力を鍛えます。
○小学6年生(11月) ○中学1~3年生(6月)
○中学生希望者APU訪問(12月)

北九州英語村で様々なアトラクションを英語で体験し、日頃の学習で身に付けた英語力を試したり新たな学習目標を設定したりします。
○中学1年生(2月)

英語環境の充実

生徒の発話量を確保した授業づくりや英語による校内放送など、生徒が英語に触れる機会を充実させるための環境整備を図ります。

中学生英語スピーチコンテストの実施

筑前町中学生英語スピーチコンテストを実施します。

英語検定試験 受験費用の補助

全中学生を対象に英語検定試験の受験費用を補助します。



令和4年度
中学生の
英検取得状況

英検3級以上取得(中3)	34.7%
英検4級以上取得(中2)	46.0%
英検5級以上取得(中1)	65.4%

3 心づくり・体づくりの推進

指標①児童生徒質問紙「将来の夢や目標を持っていますか」の項目において肯定的な回答をした児童生徒の割合
小：全国平均以上 中：71.6%以上か全国平均以上
指標②全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点が、全区分（小中、男女別）で全国平均以上

キャリア教育で、「夢や志」を育み、自尊感情を高めます

- 「夢や志を育む筑前っ子育成プラン」を踏まえ9年間を見通したキャリア教育に取り組み、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学び意欲を向上させます。
- キャリア・パスポート（小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる活動を児童生徒が記録し蓄積する教材）を活用し、キャリア教育の充実を図ります。



10歳を祝う会（表現活動）



10歳を祝う会（保護者への手紙）



中学生 立志式（立志生誓いの言葉）



中学生 立志式（誓いの言葉校納）



中学生 職業講話



中学生 接遇研修

食育の推進、体力・運動能力の向上に取り組みます

- 児童生徒が健全な食生活を実践し、健康で豊かな人間性を育ていけるよう、学校教育活動全体を通じて、総合的に食育を推進します。
- 日常的に運動を楽しみ、自ら体を鍛える児童生徒を育てるために、体育科学習、体育的行事等の取組を充実します。

➤ 教科等における食に関する指導を充実します。

- 家庭や地域と連携し、体験活動を取り入れた授業を工夫します。
- 栄養教諭、養護教諭の専門性を生かした授業を実施します。



➤ 学校給食の充実を図ります。

- 全校のランチルームに食育コーナーなどの環境を充実します。
- 毎月初めの「和食の日」や19日の「食育の日」をはじめ郷土食や行事食の充実を図ります。
- 第3次筑前町食育推進計画を踏まえ、食育の充実に取り組みます。
- 「筑前町学校給食における食物アレルギー対応方針」に基づく食物アレルギーへの適切な対応を行います。



郷土料理「蒸し雑煮」の献立

➤ 体育科学習、体育的行事等の指導を充実します。

- 体育科における運動量の確保を前提とした授業づくりを行います。
- 自己やチームの目標に向かって粘り強くチャレンジする授業、達成感や満足感を育むような体育的行事を行います。
- 教育活動全体を通して体力向上に取り組みます。
 - 「1校1取組」「体力アップシートの活用」等を通して、体力向上に取り組みます。



1校1取組
「なわとびチャレンジ」



スポコン広場
「みんなでドッジボールラリー」

4 いじめ・不登校等に対する生徒指導体制の確立

指標 1000人当たりのいじめ認知件数：全国件数以上
不登校児童生徒の復帰率：全国平均以上

いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組みます

「福岡県いじめ防止基本方針、筑前町いじめ防止基本方針、各学校いじめ防止基本方針」に基づき、県教育委員会・町教育委員会・学校が連携し、組織的な取組を図ります。

未然防止

早期発見

早期対応

○命の教育の推進

・道徳教育の充実

・命の授業の充実

○人間関係・集団づくりの推進

・いじめを許さない心と、協力して取り組もうとする集団としての問題解決能力の育成

○体験活動の推進

・社会性や共に生きる力の育成

○基本的生活習慣の定着・規範意識の育成

・情報モラル教育の推進

・行動や規範を「理解させる」「納得させる」「実践させる」

○いじめの定義の適切な理解

・教職員や児童生徒のいじめに対する適切な理解を促進

○報告体制の整備

・情報共有

・校内いじめ対策委員会等での事実確認、判断、対応方針の決定等

○SOSキャッチ体制の充実

・相談ポストの活用

・チェックリスト等の活用

・アンケート等の実施（月1回以上）

・教育相談の実施（学期に1回以上）

○組織的な対応

・校長のリーダーシップのもと、校内いじめ対策委員会を中核として組織的に対応

○いじめられている児童生徒への支援といじめている児童生徒への指導の徹底

・保護者との連携

・関係機関との連携

○教育委員会による支援

・いじめ問題対策委員の活用

・SC、SSW等の活用

・スクールロイヤーの活用

不登校の予防・早期対応に取り組みます

未然防止

早期対応

■ 児童生徒の悩みや不安の受容

● 学校は、毎月、アンケート調査を実施し、悩みや不安といった実態把握に努めます。

● 学校や図書館等に「相談ポスト」を設置します。

● 教員、SC、SSWが個別に教育相談等を行います。

■ 保幼・小・中連携

● 小1プロブレム予防・解消のために、就学前の児童との交流活動を実施します。

● 6年生中学校体験入学を実施します。

● 小学校と中学校の連絡会を機能させます。

■ ケース会議等による支援計画の作成、評価

● SCやSSWと連携しながら、個々に応じた支援計画を作成し、取組の評価改善を図ります。

■ マンツーマン方式による支援

● 最も信頼関係のある教員が担当者となり、指導・援助します。

■ 教育支援センターの充実

● 学校に登校できない状態にある児童生徒の自立や学校復帰を援助するための支援を目的として、教育相談、体験学習、教科指導等を行います。

アウトリーチ支援

■ 不登校児童生徒への支援強化

● 支援が行き届いていない児童生徒や保護者に対して専門のSSWが支援します。

人的支援を行います

児童生徒や保護者、教職員の心のケアを行う専門スタッフ等の人材を派遣します。

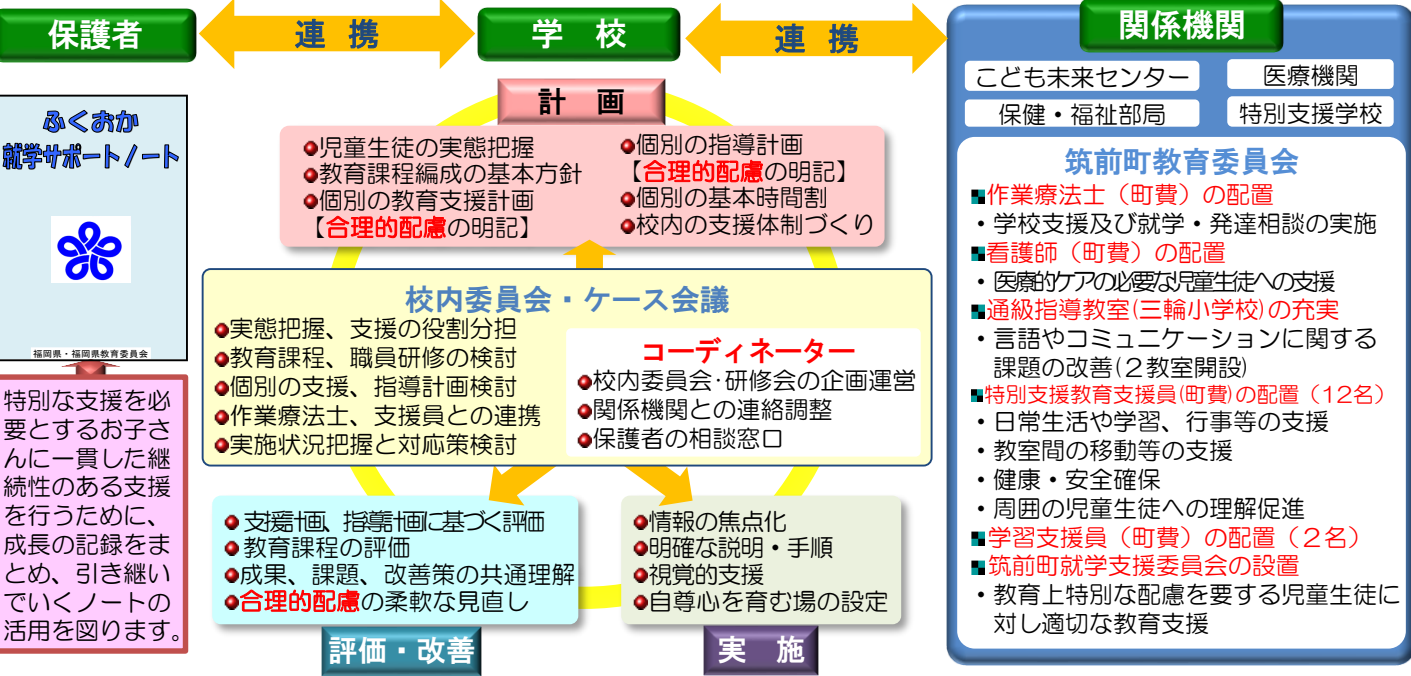
学 校 名	スクール カウンセラー(SC)	心の相談員	スクール ソーシャルワーカー(SSW)
三輪小学校 東小田小学校 中牟田小学校 三並小学校 三輪中学校 夜須中学校	●全小中学校に派遣します。 ●主に次の業務を行います。 ▶児童生徒のカウンセリング ▶保護者のカウンセリング ▶教職員のカウンセリング ▶学校の教育相談体制への指導助言 ▶教職員や保護者、地域へ向けた研修・講話 ▶児童生徒のアセスメント	 ●中学校に配置します。 ▶生徒の不安や悩みの相談	●教育課に所属します。 ●主に次の業務を行います。 ▶問題を抱える児童生徒への面接及び情報収集と環境への働きかけ ▶関係機関とのネットワークの構築、連携及び情報提供、学校及び保護者等に対する支援、相談及び情報提供 ▶学校内におけるチーム体制の構築及び支援

5 特別支援教育の充実

指標 特別支援学級の個別の指導計画の見直し3回以上：100%

関係機関と連携し、学校が組織的に児童生徒を支援します

- 学校が、保護者や関係機関と一体となって、組織的、計画的、効果的に児童生徒一人一人の自立と社会参加を支援します。
- 一人一人の教育的ニーズ等に応じた合理的配慮を提供します。
- 作業療法士が各学校を訪問し、学校支援、保護者への就学・発達相談を実施します。

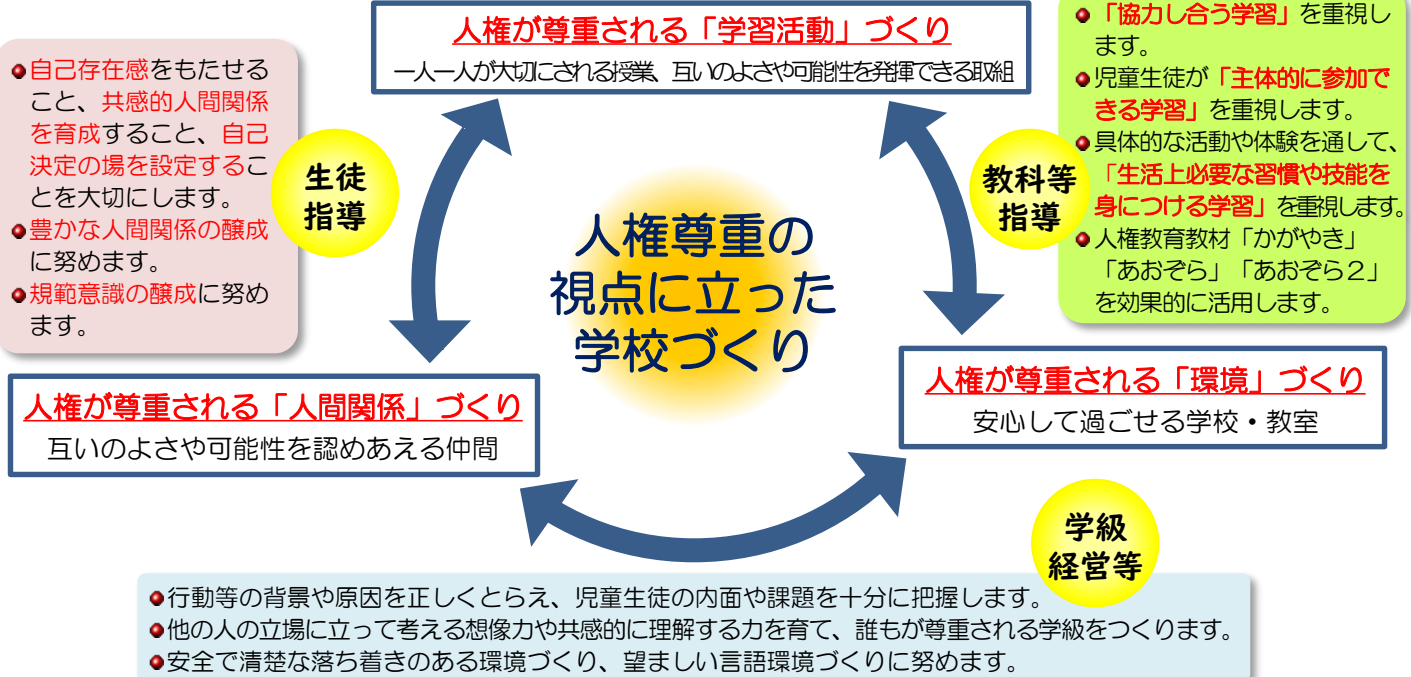


6 人権教育の推進

指標 福岡県部落差別解消の推進に関する条例について、子どもや保護者に内容・背景を説明できる教職員の割合：100%以上

教職員が一体となり、学校の教育活動全体を通じた人権教育を推進します

- 人権が尊重される「学校づくり」に取り組みます。
- 「個別の人権課題に対する取組」や「いのちの授業」の充実を図ります。
- 研修等を通して、教職員の人権認識・人権感覚の向上に努めます。



7 教職員の資質向上と人材育成

指標☞筑前町教職員研修を受講した対象者の満足度調査：A以上60%（自己評価）

筑前町教職員研修を充実させます

教職員の経験年数や教育課題に応じた研修を行い、実践的指導力を磨き、児童生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体を育みます。

経験年数に応じた研修

筑前町1年目研修（教職経験1年目）

学習指導並びに学級経営、生徒指導等の教員としての資質向上を図ります。

グローイング・アップ研修（教職経験4～6年目教員研修）

学習指導等に関する研修を行い、教員としての専門性の向上を図ります。

筑前町主題研修（教職経験8～25年目教員研修）

学習指導等に関する今日的課題の解決の方途を究明し、町内学校教育の充実を図ります。

派遣研修

県外派遣研修

他県の教育実践に学ぶことで、教育的視野を広げ、本町の学校教育の課題解決を図ります。

県内派遣研修

授業研修に他校の教職員が参加し、授業力の向上を図ります。

職務内容に応じた研修

学校運営研修

組織的な学校運営の充実を図ります。

学校経営研修

校務運営研修

学力向上推進研修

学力向上のためのマネジメント力の向上を図ります。

特別支援教育推進研修

特別支援教育に対する正しい理解と認識を深め、専門的指導力の向上を図ります。

ICT教育推進研修

ICT教育推進のための資質能力の向上を図ります。

いじめ・不登校等対応研修

いじめや不登校等の問題行動の対応に係る資質能力の向上を図ります。

8 教育環境の整備

指標☞筑前町学校安全対策委員会の開催（年間）2回

指標☞通学路危険箇所巡回調査報告書の更新回数（年間）2回

安心、安全と魅力ある教育環境の整備に努めます

教育の情報化に対応したICT環境の整備や快適な学習環境の整備、安全・防災対策の推進の実現に努めます。

施設の管理及び整備

ICT機器の整備

タブレット、電子黒板、校務支援システム等の計画的な整備を図ります。

学校施設の管理・整備

学校施設の安全管理と計画的な整備を図ります。

教職員の服務規律

- ・不祥事防止対策委員会の機能化
- ・教職員のメンタルヘルスの保持対策の実施
- ・筑前町教職員働き方改革指針に基づく取組の実施

安全・防災対策

- ・筑前町学校安全対策委員会の実施
- ・スクールガードリーダーによる地域巡回指導の実施
- ・通学路危険箇所巡回調査の実施

